

# 大阪電気通信大学建築学科

## 中央公会堂で卒業制作展を開催

総合資格が協賛

大阪電気通信大学建築学科（寝屋川市）の「合同卒業制作展2021『点猫』」が2月2～5日の4日間、大阪市中央公会堂で開催された。4

日間を通じて、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を考慮し、人数制限を設けた完全予約制のオフラインとオンラインの同時開催で実施した。



▲一日目の展示会風景  
会場には、主役となる4年生全員の卒業研究または設計作品約80作品が展示された他、1～3年生が作成した設計図面や模型の優秀作品約10作品を公開。また、サークル活動の一環

として取り組む、ポプラの木を活用し、さまざまな活動を展開するポプラ+まちづくりプロジェクトをはじめ、Create for Smile

といった活動内容の紹介パネルが展示された。同学科主任の佐々木厚司教授は、「開設4年、寝屋川源流の大学拠点からその流れに沿って勇躍なにわ港入り江の地、中央公会堂にたどり着き、その1年次課題からの軌跡もたどれるスケールの大きな卒業展となつて感無量だ」と一言。また、

間もなく卒業を迎える4年生に対して、「彼らが1期生の卒業生となる。先輩として学ぶ姿勢を下級生に示してくれたおかげで、荘厳な会場空間に負けないくらいの良き伝統が脈々と受け継がれていくと思うと私もうれし」と話した。

2018年に開設された同学科は本年度で4年目を迎え、卒業を控える4年生が1期生となる。学生らは4年間の学びの集大成として「人と環境に配慮した建築・まちづくり」をコンセプトに、各分野の知識を深め、卒業設計・研究成果を発表した。同卒業制作展には総合資格学院が協賛した。